

なかがわ 議会だより

No 149

2024.8

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



7月14日(日) 佐久まつり 誉平太鼓

主な 内容

- 第2回定例会【一般質問3氏】
- 中川中PTA、商工会青年部・女性部と議会の懇談会
- タブレット端末の導入効果を調査
- 議員のなり手不足を特別委員会で議論開始
- 議員に対する問責決議を可決
- 議会日誌、編集後記

◆第2回定例会◆

令和6年第2回定例会は6月18日招集され、会期を2日とし、3議員の一般質問、諮問2件、報告2件、条例改正5件、議案3件、予算補正2件、意見書2件、会議規則4件、問責決議1件を議決し、閉会しました。



第2回定例会の様子

主な議案の審議結果

【諮問】

▼人権擁護委員候補者の推薦
大西 英一 氏(再任)
菊田 啓美 氏(再任)

【適任であると答申】

【報告】

▼第32期中川町地域開発振興公社決算報告【報告済】
当期純利益69万4571円。

▼令和5年度中川町繰越明許費繰越計算書【報告済】

○ポンピラアクリズイン
グ給水ポンプ取替工事
1430万円

○大富旧国道線道路改良事業4765万円 ほか

【条例の一部改正】

▼中川町税条例の改正
【原案可決】

令和6年度分の個人住民税の定額減税に伴い、納税者や扶養家族1人につき1万円の減税規定に改正しました。

▼中川町国民健康保険税条例の改正
【原案可決】

後期高齢者支援金分の課税限度額が、22万円から24万円に改正されました。

▼中川町文化財保護条例の改正
【原案可決】

町指定文化財の保護について届け出や許可、壊した場合の罰則などを改正しました。

その他にも、個人番号の利用、町長等の損害賠償責任などの関係条例を改正しています。

【議案】

▼工事請負契約の締結(歌内本線道路改良工事)
【原案可決】

・契約方法：指名競争入札
・契約金額：5940万円
・契約相手：株式会社佐藤工建(中川町字中川430-15)

▼物品購入契約の締結(小型ロータリ除雪車購入事業)
【原案可決】

【原案可決】

・契約方法：指名競争入札
・契約金額：3685万円
・契約相手：北海道川崎建機株式会社名寄支店(名寄市徳田289-20)

【予算】

▼令和6年度中川町一般会計予算補正
【原案可決】

■主な予算の《追加》

・定額減税調整給付金
700万円(住民税と所得税(ひとり4万円)を減税しきれない差額分を給付します)

・物価高騰対策給付金
600万円(住民税の非課税世帯と均等割りのみ世帯を対象に、10万円を給付します)

・農業用排水路維持工事
229万円(豊里、大富地区の農業用排水路に堆積した土砂を除去するため)

・ふるさと納税返礼品開発支援補助 300万円(魅力ある返礼品の増加を図るため、50万円を上限に補助します)

その他にも、労務単価の

上昇に伴う委託料や工事費の追加、事業予算の組替などにより、各事業費を増減額しています。

歳入と歳出から、3916万円を増額し、予算総額を4億3816万円としました。

質疑応答

問ふるさと納税の返礼品開発や寄付促進にむけたPR経費を新規で追加したが、どのような効果を見込んでいるのか。

答令和5年度の寄付は61件780万円と全道でも下位にある。返礼品の開発とともに、下高井戸商店街または日大文学部をターゲットにPR事業を展開し、知名度向上と寄付額の増加を図りたい。

問下高井戸商店街や日大文学部との交流が続いてきたが、そこにこだわらずもっと広い範囲でふるさと納税の宣伝活動を行うべきではないか。

答両者にはこれまで積極的、効果的なPRができていなかった。日大は大きな組織であり、ここをどう活用できるかが、今後のサテライトの運営を考えるうえでも重要と思う。

その他の会計についても、次の内容で原案可決されました。

・農業集落排水事業会計
286万円の増額（合併処理浄化槽設置工事費の追加）



ふるさと納税の返礼品

【意見書】

▼地方財政の充実・強化に関する意見書

【関係各位に送付】

要旨…少子高齢化、人口減少、災害対策、地域活性化など、地方公共団体の役割は多様化・高度化していま

す。しかし、人材不足や財政難が深刻化し、行政サービスの質低下が懸念されています。

求められる対策として①地方財源の拡充と人件費確保②社会保障施策の充実と財政措置の拡充③自律的な地方財政の確立

その他にも、減税政策による地方財政への影響抑制、地方創生推進費の恒久化、特別交付税の配分の見直し、会計年度任用職員の処遇改善、デジタル基盤改革支援の拡充、地域公共交通の整備支援、小規模自治体支援の強化などが必要。

▼ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

【関係各位に送付】

要旨…北海道の森林は、全国の森林面積の約4分の1を占め、地球温暖化防止や国土保全、林産物の供給など、多面的機能を持っています。しかし、これらの機能を十分に発揮するために

は、森林資源の循環利用を進めることが必要です。

求められる対策として①森林整備事業・治山事業予算の拡充②森林資源循環利用の推進などの取り組みを推進すること。

【継続調査】

▼閉会中の継続調査の申し出（総務常任委員会）

■事件
1 福祉施設のあり方について

2 少子化に対応した学校教育について

3 総務常任委員会にかかわる施策について

■期限
令和6年第3回定例会まで。

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（経済常任委員会）

■事件
1 ポンピラアフリズイングの大規模改修について

2 地場資源の活用と地場産業の振興

3 働き手不足の解消策に

ついて

4 経済常任委員会にかかわる施策について

■期限
令和6年第3回定例会まで。

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（議会運営委員会）

■事件
1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

■期限
令和6年第3回定例会まで。

【継続調査決定】

【議員の派遣】

▼全道町村議会議員研修会、全道議会広報研修会

【議員派遣決定】

【問責決議】

▼小池豊議員に対する問責決議

【原案可決】
内容については、9ページに掲載しています。

一般質問については、次のページより掲載しています。

問 特養と温泉、施設整備に 優先順位はあるか

答 優先順位はなく、
然るべき段階で判断する

今野議員

特養「一心苑」は建設から44年が経過、温泉も31年が経過し、施設の整備が喫緊の課題である。しかし大きな財政支出を伴うもので実行には町長の決断が求められる。そこで次の2点を問う。

- ① 2つの施設整備を同時期に実施可能か
- ② 同時が困難な場合、優先順位は

石垣町長

温泉は大きな破損、故障が施設の安全衛生面に多大な影響を与えることが予測される。今後公社や議会等との協議を経て最短の着工スケジュールは2〜3年後と予測する。特養は老朽化や定員を下回り厳しい経営となっており、第9期介護保険計画で令和9年建築と

計画している。

質問のとおり多額の事業費になることは避けられないが、最小の費用で最適なサービスを提供するべく、適切な資金手当てを検討する。

また両施設の整備に優先順位は今の段階ではないと考えている。然るべき段階で議会とともに判断したい。



建設から44年が経過した一心苑

今野議員 (再質問)

2期目であり、施設整備についてはきちんと道筋をつけるべきでは。また急ぎ足で検討をして、建設を前



今野大樹 議員

倒しするなどの対応が必要では。

石垣町長

温泉については基本計画の見直しを行っており、基本設計、実施設計についてできる限り早い段階で示していきたい。

特養は1施設だけの観点で議論するのではなく、地域ニーズや効率的な運営となるよう施設配置する必要がある。社会福祉に関わる関係者を含め検討を早急に進めたい。

今野議員

資金手当てについて、現状のような検討をしているのか。

石垣町長

温泉施設はゼロカーボンや再生可能エネルギーに関



する補助金等も手厚くなっており、そこに配慮した施設として補助金や交付金の上積みを図るなどして対応したい。

福祉施設については、公設となると自由度の高い交付金などがないため、地方債メインで検討せざるを得ない。

なお、地方債の残高は就任時58億円であったが、これからの3年で31億円ほどになる見込みであり、これであれば福祉施設に着手できると考えている。

今野議員

最初の答弁で優先順位はないとのことだったが、予算の工面がついた時点で順次着手するという事か。

石垣町長

福祉施設については、特養を地域密着型の29床以下で建設すれば解決するわけではなく、他の福祉施設も含めた効率化、コンパクト化による持続的なサービス提供をできる体制を作る必要

がある。
温泉についてもランニングコストを意識しながら、できる限り経費のかからない施設を計画したいと考えているので、一定の期間を頂きたい。



建設から31年が経過した温泉施設

今野議員

難しい案件であり、簡単に議論が進まないのは承知しているが、やはりスピード感が必要では。

石垣町長

大きな事業であり、関係者としてしっかり協議を重ねながら、できる限り有利な資金手当てを確保したいと考えている。

基本的な考え方については本年度中に示せるよう協議を進めたい。

問 町は社協へのスタンスを どう考えるのか

答 介護福祉サービス提供に 欠かせない法人

平木議員

社会福祉協議会には、令和5年度3月補正で3400万円、また6年度予算で委託費6500万円、社協助成補助など2000万円の予算が計上されています。また第9期介護保険計画では一心苑改修も計画されています。

もちろん社協自体の自助努力も必要ではありますが高齢者の減少など課題は多いと思われ、中川町の福祉事業を行っていくうえで行政としてのどのようなスタンスでいくのでしょうか。

石垣町長

小規模自治体における医療、介護、保健、福祉サービスの提供は、今後におきましても利用者や社会の負担が減ることはない、という意味にあります。

難しくなる課題と認識しています。この地域での暮らしがますます厳しくなる町民がいることも事実であり、利用者、事業者、行政の三者が協議、連携しそれぞれの役割を果たしながら、共生のまちづくりを目指すことが大切な視点と考えます。

町社会福祉協議会は質の高い介護福祉サービスを提供するために、欠くことのできない法人であるという認識のもと、今後においても経営努力を求めつつ必要な支援と町の規模に合わせた福祉サービスの検討を進めます。



デイサービスセンターの運動会

問 災害への備えに避難訓練が必要では

答 町内会単位で避難訓練を実施したい

平木議員

今年1月元日には能登半島地震が発生し、自然災害のこわさを改めて痛感しました。

行政対応として令和4年に洪水ハザードマップを配布、災害時の避難の備え、非常食材の保管、発電機の備え、各団体との災害時協定も締結しているときままですが、避難訓練等も必要ではないでしょうか。

石垣町長

災害が発生した際に避難できる場所の確保と設備の充実、更には避難時から3日間の水、食料、毛布、暖



平木総司 議員



房器具など被災時の日常生活用品の確保に努めるべく、今後におきましても第2期中川町災害時備蓄計画に基づきながら備蓄品の整備を遅滞なく進めます。

本年度は町内会、自治会とよく意見交換を行い、住民と行政の共同による参加しやすい避難訓練などを実施することで、防災意識の高揚や地域の災害危険個所の把握など自主防災を含めた体制の確立を推進します。

平木議員 (再質問)

高齢者世帯の避難に関するシミュレーションは行っているのでしょうか。

石垣町長

プライベートや個人情報にも関係しますが、命に関わることであり、情報の共有化やその仕組みを構築したい。

平木議員

町内酪農家は6年前のブラックアウト後、国などの補助により発電機等は整備されましたが、乳牛が飲む水などの対応が必要と思われ

れます。給水ポンプ、貯水タンク等の備えが必要ではないでしょうか。

石垣町長

生産者の要望があれば行政としては今後対応していきたいと考えています。



保管中の災害備蓄品

問 遊休牧場地を大規模に植林すべきでは

答 地域の振興の大きな課題、研究を継続する

小池議員

町は森林整備計画で、町民が身近に実感できる豊かな森づくりの形成に努める必要があります。しかし、山の本は伐つたら環境植林することが基本であり、森林再生のサイクルを継続的に行うことが次の世代へと引継がれる町の森林整備が重要と考えられます。

苗木を山地へ植えることにより、地球温暖化対策や野生生物の生息地を持し、林業にまつわる人々の暮らしを守るなど様々なメリットが生まれます。町はゼロカーボン宣言も行っており、温室効果ガスの排出量の削減等を促進するためと、人類が健康で文化的な生活を確保することができる目的とした、「新しい森林モデル事業」の取り組みについて伺います。

①保安林の過剰伐採の植林について②遊休牧場地の森林再利用整備について③植林整備のクラウドファンディングの活用について

石垣町長

平成27年の保安林の未利用間伐事業では、施工にあたって町と施工業者の協議不足、事業執行上の仕組みの周知不十分もあり、75haのうち19haが未施工と判明し、結果的に施工箇所が過剰間伐となり森づくりの観点から反省しています。

小池議員 (再質問)

過剰伐採が行われた空白地の箇所がどうなっているか。

石垣町長

当時、未施工が判明した段階で上川総合振興局林務



小池 豊 議員

課と現地調査を含め、しかるべき措置をとり補助金の一部返還をしています。

小池議員

過剰伐採は中川町の森林整備計画に基づいておらず、伐採したら直ちに次の後世に財産を残すために一刻も早く植林をすべきではないですか。



平成27年当時の過剰間伐の状況

石垣町長

植えることは当然のこと、計画の達成を目指して全ての事業を展開しています。



小池議員

間伐を一度行ったら数十年間は工事に入らない箇所に、作業道が約4000m施工されたが一度も使われず通行不能になっている状況だが、自然を壊し災害まで生じさせ使わない道を数千万円もかけて施工した理由は何ですか。

石垣町長

互いの争点である過剰伐採の件について答弁しますが、保安林としての機能に重大な事象がないよう一定の管理を行っています。

小池議員

遊休牧場地は広大な面積があり植林再生有効活用として、中川町の未来と後世に引き継ぐ大規模森林整備事業の取り組みの考えは。

石垣町長

休止している牧場の面積は約600haあります。遊休公共牧場を利用するには、植林は様々な面から考えても一番良い方法ではないか

と思っています。議員と目標は同じであり、農林課と検討をすすめています。

小池議員

クラウドファンディングを活用した地域への愛着を深める将来的に、中川町の新たな森林モデル再生整備事業の一環の取り組みについていかがか。

石垣町長

遊休公共牧場の林地化は有効だと思う一方で、どう活用できるかは地域の振興にとって非常に大きな課題です。ゼロカーボンに貢献するからだけではなく、何を主眼として取り組むのが一番なのか、今後も引続き研究して参ります。

大型建設事業を控え、財政も厳しくなることが予想され、クラウドファンディングや、ふるさと納税の活用など、外部資金を調達できる取り組みを森林のみならず、様々な施策で意識しながら展開していきます。

中川中PTA 商工会青年部・女性部と懇談会を実施

町議会では多くの住民からお話を伺い、今後の議会でのより良い審議に役立てることを目的に、各団体との懇談会を順次開催していきます。5月には中川中PTAの方々と、商工会青年部・女性部の方々と懇談会を行いました。



中川中PTAと議会の懇談会

中川中PTAとの懇談では、子どもの進学などについて意見を交換

5月24日に中川中PTAの保護者3名と総務常任委員会の4名が、ちやいむで意見交換を行いました。

高校への進学が近づき、就学支援制度の増額、通学

可能な高校の複数化について意見が出され、中学校の教育についても、部活動の地域移行への不安、子ども弁当の充実などについて意見が交わされました。

また、議会からは、議員のなり手が全国的に不足していることを投げ掛け、今後、議員報酬や定数の議論を広報等によりお知らせすることを伝えました。

商工会青年部・女性部との懇談会では、安心できる暮らしについて意見を交換

5月27日に商工会青年部8名、女性部6名、職員4名と経済常任委員会の4名が、商工会で意見交換を行いました。

ハイヤー、バス、鉄道など公共交通の充実、街中の休憩スペースの確保、子どもの遊び場の整備、災害発生時の不安、子ども弁当の充実などについて意見が交わされました。

また、議員の報酬や、なり手についても意見が出され、仕事との両立には一定の報酬が必要、政治塾など背中を押す仕組みはどうか等の意見が出されました。



商工会青年部・女性部と議会の懇談会

定例会の一般質問では、災害に関する質問も

懇談会で出された意見やアイデアは6月の第2回定例会でも取り上げられました。

一般質問で平木総司議員は、商工会婦人部から意見があった災害に備えた防災訓練の必要性を質問しています。(詳細は一般質問のページをご覧ください。)その他の意見についても、9月の決算審査や一般質問などにも活用していくこととしています。

議員のなり手不足は喫緊の課題 特別委で議論開始

昨年12月に設置した「中川町議会改革特別委員会」(今野大樹委員長)において、人口減少が進む中、町議会の将来がどうあるべきか調査研究を進めています。

具体的には、全国的に議員のなり手が不足する中、①議員報酬について ②議員定数について ③常任委員会の設置数について協議を重ねています。

これまでの協議の中では「議員の活動実態が町民に知られておらず周知が必要」「団体との懇談会の中でも報酬や定数について意見を交わしたい」「他町村との比較などの資料も住民に知らせてはどうか」などの意見やアイデアが出されています。

7月1日からは各議員が、役場庁舎での会議以外に、毎日何時間議員活動を行っているのか実態調査を行っており、調査終了後には活動量と報酬のバランスを検討する予定です。

昨年5月の町議会議員選挙では、平成11年以来の24年ぶりとなる無投票になりました。人口が約1300人と減少する中で、議員のなり手対策は喫緊の課題となっています。今後も町民の皆さんには、議論の経過等をていねいにお知らせしていきます。

タブレット端末の導入効果を調査

上川管内でも市町村議会ですべてタブレット端末を導入し、デジタル化による情報共有の強化、ペーパーレス化による経費節減、オンライン会議の実現、高度なデータ分析などを旨とする事例が増えてきました。本町議会でも導入した場合の効果について調査検討を進めており、6月25日と26日の2日間、3つの自治体を訪問し、活用状況、効果、課題などを学んできました。

現地調査では、議会運営

委員会（今野大樹委員長）

の4名が中富良野町、当麻町、士別市の3つの議会を訪問し、導入に至った経緯や議会での運用状況、執行部での活用、課題点や今後の目標などの説明を受けました。実際に端末に触れたデモンストラーションでは、操作性や視認性、携帯性などを体感することができました。

議員や職員との質疑応答では、「費用対効果は得られるのか」「端末の更新は計画しているのか」「操作の習熟はどのように行ったのか」「会議以外の活用状況は」など多く意見が交換されました。

今回、3つの議会を訪問しましたが、それぞれ運用等も異なることがわかりました。今後メリット、デメリットを比較しながら、タブレット端末を導入した場合、本町議会にどのような効果をもたらすのか、執行部とも相談しながら研究を進めていきます。



中富良野町でタブレット端末を調査

全道議員研修会に参加し、議員の学びを広げる

全道町村議員
研修会に参加して
議員の役割を再確認

全道町村議会議員研修会が7月2日札幌コンベンションセンターで開催され、本町議会からは7名の議員が、そして全道から町村議員と事務局職員が参加し、研鑽を積みました。

研修会では、2氏が講演し、気象予報士としてテレビでも活躍する森朗氏は気候変動をテーマに、気象デ

ータを基に北海道内の猛暑日の増加傾向を解説。農水産物への影響や自然災害への備えなどを聴衆に伝えました。

また、元衆議院議長の大島理森氏は人口減少社会の都市と町村の役割を比較しながら、「町村は、自分の成果や貢献を感じられる新しい豊かさを構築できる。議会人が情報を集め、行政に活かしてはどうか」と語りかけました。

道議会議事堂や
エスコンフィールド
北海道を見学

研修会終了後は、町議会の自主研修として北海道議会議事堂を訪問しました。本会議場の見学では、馬蹄型のレイアウトや、小さな子供連れでも傍聴可能なガラス張りの部屋があるなどの説明を受けました。

翌日は北広島市にあるエスコンフィールド北海道の

施設見学を行いました。昨年オープンした道内でも抜群の集客力を誇る巨大施設とあって、空間の演出や来場者へのおもてなしなど、その魅力の一部を垣間見ることができました。

施設内のバリアフリーはもちろんのこと、ペット連れの観戦席、子どもの遊ぶスペース、富裕層の観戦エリア、温泉・サウナ・ホテルの併設など、飽きさせず、集客力のある施設に感嘆しました。



エスコンフィールドを見学する町議会

議員としての責務の自覚を

本町議会に所属する小池豊議員の議員活動に対して、令和4年に1件、令和5年に1件、企業・団体から抗議が届き、その都度、全議員で抗議内容の事実確認を行い、本人に反省を求め、今後軽率な行為を繰り返すことのないよう注意を行ってきました。しかし、今年度においても、再び小池豊議員の行動に対して抗議文が届く事実がありました。このことから、本人に猛省を求めため6月19日の第2回定例会において、「小池豊議員に対する問責決議」が提案され、本人を除く全会一致で可決しました。

小池豊議員に対する問責決議

小池豊議員は令和6年4月、A社の行った事業及び決算について、『事業報告書と決算報告書の合計金額が合っておらず、さらに、「草地リフレッシュ事業」を行った実績で個人が受け取れる補助金の行方の不明確な取扱いの疑念が出ております。』などと書かれた文書を町内農業者数戸に配布し、外部監査を求める署名活動を実施している。その行為に対し、4月30日付で同社より中川町議会及び小池議員に対し、『重大な事実誤認が認められる。適正に処理しており到底看過できるものではなく、当社に対する名誉棄損に値する』などとして抗議文が提出された。

5月8日に実施した議会運営委員会でのこの抗議文について対応を協議し、小池議員の疑念があると主張する問題点を確認し、関係者を参考人として招いて議員全員で事実を確かめることとした。

6月7日、議会運営委員会に全議員を招集し小池議員が疑念とした主張について参考人及び役場農林課長から聞き取りを行った結果、事業内容及び決算の内容について小池議員を除く全議員が問題ないと判断した。

今回の抗議をはじめ、小池議員については令和5年度にB団体、令和4年度にはC社から抗議を受けており、その都度本議会は小池議員に反省を求め、軽率な行動を慎むよう注意をしてきた。また、今回の抗議文の件に対して、小池議員は行為の取り消しや、謝罪の考えもないと明言している。小池議員は自省ある責任の履行に不誠実であり、中川町議会議員倫理綱領の「責務：町民全体の代表者としての品位と名誉を損なうような一切の行為を慎まなければならない」に反する行為であり、議会議員として当然に求められる倫理観にかけている行動と言わざるを得ず、極めて遺憾である。

よって、中川町議会は、小池議員に対し猛省を促すとともに、事態の重大さを真摯に受け止め、議員としての責務を自覚されるよう強く求める。

以上、決議する。

令和6年6月19日

北海道中川郡中川町議会

議会目誌

4月

- 1日 幼児センター入園式
- 5日 第3回広報特別委員会
- 8日 中央小・中川中入学式
- 16日 中川町地域交流会
- 17日 町立診療所赤間保之医師を歓迎する夕べ
- 26日 高齢者就労センター総会

5月

- 8日 第5回議会運営委員会
- 16日 中川町商工会通常総会
- 18日 中川中体育大会
- 21日 上川北部消防事務組合議会臨時会【名寄市】
- 22日 ポンピラ塾開講式
- 24日 中川中PTAと総務常任委員会との懇談会
- 27日 各種期成会総会・宗谷



7月7日開催の天塩川de水切り大会のようす



7月13日開催のダウシ・ザ・テツシ・オ・ペツのようす

6月

- 1日 中央小大運動会
- 7日 第6回議会運営委員会
- 9日 名寄駐屯地創立71周年記念式典【名寄市】
- 10日 第6回全員協議会
- 11日 第7回議会運営委員会
- 14日 北海道町村議会議長会定期総会【札幌市】
- 戦没者追悼式
- 西天北五町衛生施設組
- 29日 上川北部市町村議会議長会定例会【下川町】
- 30日 中川町観光協会総会
- 31日 上川地方総合開発期成会定期総会【旭川市】
- 本線活性化推進協議会総会【名寄市】
- 商工会青年部・女性部と経済常任委員会との懇談会

YouTubeで一般質問を配信中

町議会では、議会を身近に感じてもらうと、今年4月から一般質問をYouTube（ユーチューブ）で録画配信しています。

「中川町議会」と検索するか、下記または一般質問のページのQRコードをご利用ください。



▲YouTubeの配信画面



中川町議会のチャンネル

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

7月

- 15日 合議会臨時会【幌延町】
- 18日 幼児センター運動会
- 第7回全員協議会
- 第2回定例会（一般質問、議案審議）
- 第2回議会改革特別委員会、総務・経済常任委員会
- 19日 第2回定例会（議案審議）
- 第4回広報特別委員会
- 25～26日 議会運営委員会所
- 7日 全道町村議会議員研修会、町議会自主研修【札幌市】
- 2～3日 天塩川de水切り北海道大会
- 7日 管調査【中富良野町、当麻町、士別市】
- 13日 ダウン・ザ・テツシ・オ・ペツ
- 14日 佐久まつり

編集後記

暑い夏が始まりましたが雨なども多く、不安定な天気が続いています。町民の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

町内では、各種催し物がたくさん開催されるようになりました。中川町議会としましても、多くの町民の皆様と交流を深め、連携を取りながら、議会への関心をもってもらえるように活動しているところです。その活動の一つとして、町民の皆様との懇談会を開催しているところですが、より多くの声を聞くことを目的に、昨年度より各種団体向けに案内をして、団体との個別の懇談会を実施しております。

皆様のご参加を頂き、これからの議会活動に反映していきますので、町民の皆様のお見聞かせくださいますよう、どうぞよろしくお願いたします。（真）

議会広報特別委員会
委員長 佐々木英和
委員 若山 真一

